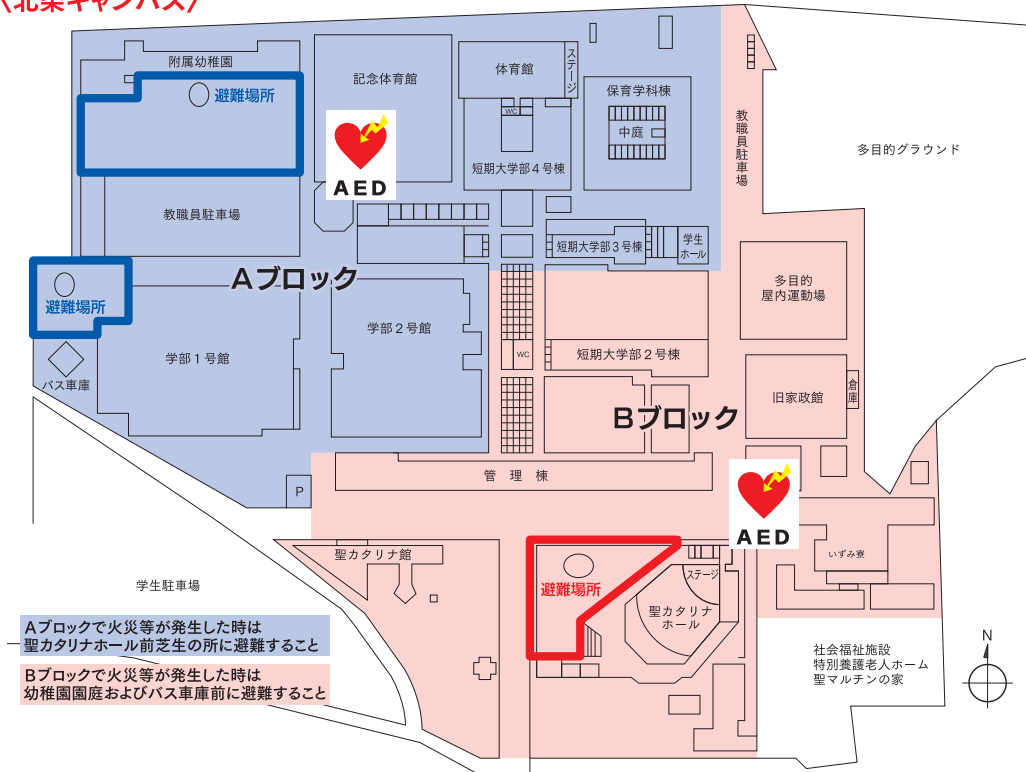


〈北条キャンパス〉

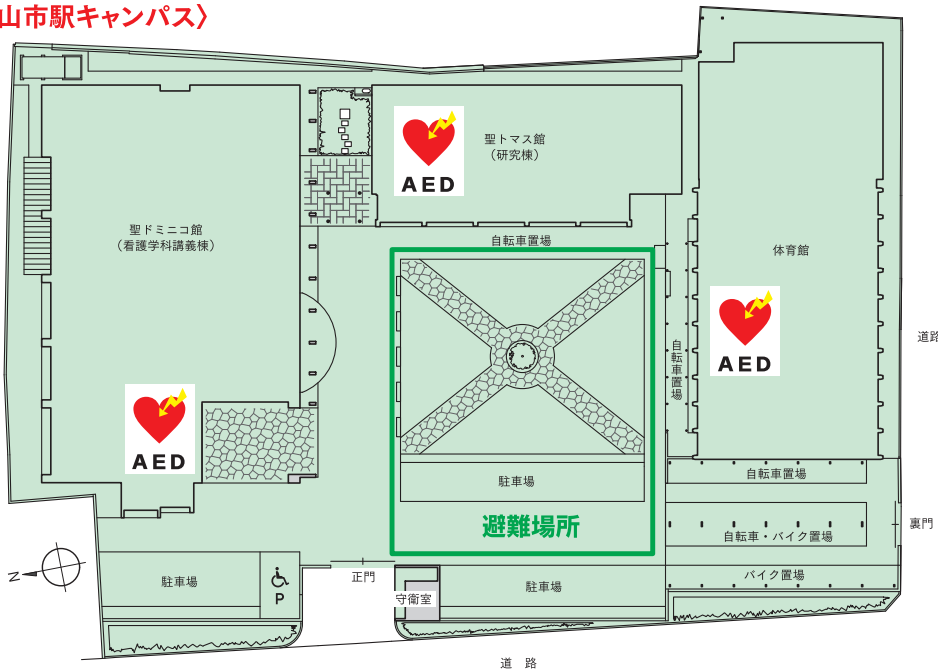
学内避難マップ



Aブロックで火災等が発生した時は
聖カタリナホール前芝生の所に避難すること

Bブロックで火災等が発生した時は
幼稚園園庭およびバス車庫前に避難すること

〈松山市駅キャンパス〉



家族への連絡方法

事前の登録が必要です！（事前にテストをしてください）

携帯各社の災害伝言板サービス

大規模災害時に携帯電話から安否確認（安否情報の登録）ができる災害用伝言板サービス。

あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供される。また、インターネットからも安否情報の確認が可能。

各社のQRコードはこちら



NTTドコモ

<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>



au

<http://dengon.ezweb.ne.jp/>

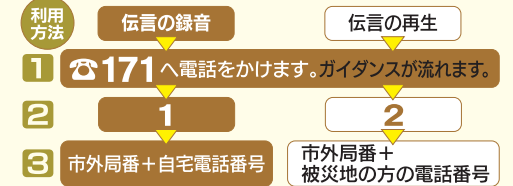


ソフトバンク

<http://dengon.softbank.ne.jp/>

NTT災害伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービス。



事前に記入しておきましょう。

市外局番 電話番号

※被災地の方も、被災地以外の方も利用方法は同じです。

- 利用可能な端末/NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話
- 蓄積伝言数/1電話番号あたり1~10伝言
- 録音時間/1伝言 30秒以内
- 伝言保存期間/2日間（48時間*自動消去）

傷病者救助法

意識が無い、心肺停止の場合

1 周囲の安全を確認します。意識が無ければ応援を呼び、119番通報とAED手配を依頼します。

119番通報

AED手配



2 呼吸を確認します。

3 正常な呼吸が無ければ胸骨圧迫による心臓マッサージをただちに行います。

強く：傷病者の胸が少なくとも5cm沈むほど強く圧迫

速く：1分間に少なくとも100回のテンポで圧迫

絶え間なく：中断を最小限に絶え間なく繰り返して圧迫



4 人工呼吸ができる場合（窒息・溺水時以外は、必ずしも実施する必要はない）まずは気道確保をして【人工呼吸2回→胸骨圧迫30回】を繰り返します。



5 AEDが到着したら、音声ガイドに従い適宜除細動を行います。協力者とともに処置を進めます。



6 意識が無いが呼吸がしっかりしていれば回復体位にします。保温にも留意しましょう。

傷、出血の処置（直接圧迫法）

清潔なタオル・ハンカチなどを出血部分に当て強く圧迫します。出血部位は高い位置に保持します。血液には直接触れないよう、ビニール袋などを利用しましょう。

傷口が汚れていたら

水道水などでよく洗い流します。

骨折がある

骨折部位を動かさないように添え木を当て安静にします。

- 雑誌、ダンボールなどを利用します。
- 傷や骨折の部位は（できれば）高い位置に保持し、安静を保ちます。

火傷がある

水道水で30分位冷やしたら清潔な布を当て安静にします。水疱は破らないように注意します。